

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 24 日 (2016.3.24)

【公開番号】特開 2014-189729 (P2014-189729A)

【公開日】平成 26 年 10 月 6 日 (2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2014-055

【出願番号】特願 2013-68787 (P2013-68787)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 K 5/29 (2006.01)

C 0 8 L 23/02 (2006.01)

C 0 8 K 5/49 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 67/02

C 0 8 K 5/29

C 0 8 L 23/02

C 0 8 K 5/49

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 5 日 (2016.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物からなる成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記課題を解決するため、本発明は次の構成を有する。

(1) (A) ポリブチレンテレフタレート 5 ～ 4 8 重量部および (B) ポリカーボネート 5 2 ～ 9 5 重量部の合計 1 0 0 重量部に対して、(C) カルボジイミド化合物 0 . 1 ～ 3 . 5 重量部、(D) - オレフィンと , - 不飽和酸のグリシジルエステルを共重合成分とするグリシジル基含有共重合体 1 ～ 1 5 重量部および (E) リン系安定剤を配合してなる熱可塑性樹脂組成物。

(2) 前記 (E) リン系安定剤がホスフェート化合物を含む (1) 記載の熱可塑性樹脂組成物。

(3) 前記 (E) リン系安定剤の配合量が、前記 (A) ポリブチレンテレフタレートおよび前記 (B) ポリカーボネートの合計 1 0 0 重量部に対して、0 . 0 0 5 ～ 0 . 0 2 重量部である (1) または (2) 記載の熱可塑性樹脂組成物。

(4) 前記 (C) カルボジイミド化合物および前記 (D) グリシジル基含有共重合体の合計配合量に対する前記 (E) リン系安定剤の配合量の比 (重量比) が 0 . 0 4 7 / 1 0 0 ～ 1 . 5 5 / 1 0 0 である (1) ～ (3) のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

(5) I S O 2 9 4 に準拠してノッチ付シャルピー試験片を成形し、温度 1 2 1 、湿度 1 0 0 % R H 環境下で 2 0 時間処理した後、I S O 1 7 9 に準拠して測定したときのシャルピー衝撃強度が 2 5 k J / m ² 以上となる (1) ~ (4) のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物。

(6) (1) ~ (5) のいずれかに記載の熱可塑性樹脂組成物からなる成形品。